

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																					
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日	中野 勲次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																					
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																					
学校法人 爽青会		平成20年3月20日	理事長 中野 勲次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																					
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																				
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物看護師科			平成31年1月25日 文部科学省告示号外第15号	—																				
学科の目的	One Healthの理念のもと、動物の命を守る事で、人々の命と社会生活を守る動物看護師を育成する。																									
認定年月日	平成31年3月5日																									
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																			
	3年 昼間	3740時間	1375時間	0時間	2365時間	0時間	0時間 <small>単位時間</small>																			
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																				
70人		58人	0人	5人	19人	24人																				
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																					
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月25日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■学年末:3月5日			卒業・進級条件	卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																					
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ・海外授業 他 ■サークル活動: 有																					
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) 動物病院			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																					
	■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動物看護師統一認定試験</td> <td>③</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>23</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>ビジネス電話検定A</td> <td>③</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物使用管理士2級</td> <td>③</td> <td>24</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	動物看護師統一認定試験	③	28	28	サービス接遇検定	③	23	22	ビジネス電話検定A	③	14	12	愛玩動物使用管理士2級	③
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																							
動物看護師統一認定試験	③	28	28																							
サービス接遇検定	③	23	22																							
ビジネス電話検定A	③	14	12																							
愛玩動物使用管理士2級	③	24	22																							
	■卒業者数 : 28 人 ■就職希望者数 : 28 人 ■就職者数 : 28 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																					
	(令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)				■自由記述欄																					
中途退学の現状	■中途退学者 2名		■中退率 3.3%		平成31年4月1日時点において、在学者58名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者56名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 体調不良																					
	■中退防止・中退者支援のための取組 入学後の体調管理指導の徹底																									
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																									
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2020年6月23-24日実施																									
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/care/																									

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
中野 良太	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 理事長代理	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
村瀬 晋司	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
清水 香織	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
石川 勇希	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
守屋 綾乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
山田 愛有貴	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
天野 徹	一般社団法人浜松市獣医師会専務理事 天野どうぶつ病院 院長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	①
田島 雷太	ハル動物病院 院長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は9月および2月の年2回開催とする。(2020年度は9月を11月に延期)

(開催日時(今年度予定))

第1回 2020年11月予定

第2回 2021年2月予定

(開催日時(昨年度実績))

第1回 2019年9月17日 13:30～15:00

第2回 2020年2月6日 13:45～15:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■ご意見1:老犬介護の授業改変について、体験できない部分は動画をもっと活用すべき

→授業内で使用する動画を増やした

■ご意見2:介護用品をもっと増やし、具体的に触れながら授業を行うほうが教育効果は高い

→介護用品を購入し、実物を使っての授業に変更

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する
 ・One Healthの理念のもと、動物の命を守る事で、人々の命と社会生活を守る動物看護師を育成する。
 ・臨床現場で必要とされる看護技術および症例検討を重視する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 主に現役獣医師・動物看護師と連携して、動物病院における検査、手術等の実技指導から、バイタルサインや栄養学等知識習得の授業を実施。普段の授業に対する積極性と、期末に実施する筆記試験による習得度の確認の上、評価している。

科目名	科目概要	連携企業等
動物疾病看護学ⅡB	日本有数の巨大2次動物病院内にて行われる治療の内容を元に、現在増えている病気や最新の治療方法を学ぶ。	日本動物高度医療センター
臨床検査実習Ⅱ	循環器系専門医師より、超音波エコーによる検査方法を学び、実際に現場で見られる病変が発見できるよう、実習を通して実技力を養う。	いぐち動物病院
院内コミュニケーションⅠB	インターンシップや就職後に応用できるよう、ビジネスマナーを学ぶ。資格取得を通して、知識的に学んだ内容を応用できるよう、ロールプレイングを多用した授業展開を行う。	浜松ビジネススクール
動物薬理学	薬の作用機序と有害作用並びに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性を理解し、薬剤の正しい取り扱いが出来る。	ますだ動物クリニック
動物病理学Ⅱ	発病のメカニズムと病理学的特徴を理解し、細胞レベルの治療方法を理解する。	だて動物病院

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「合同学会特別公開講座」(日本獣医麻酔外科学会・日本獣医循環器学会・日本獣医画像診断学会主催)
 期間:令和2年1月12日(日) 対象:動物看護師科 教務1名
 内容:愛玩動物看護師法の概要と今後の取り組み+幸せなペットと飼い主を増やすために動物病院でできること

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間:令和2年3月2日(月)、13日(金) 対象:ルネサンス・ペット・アカデミー 教務10名
 内容:学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本臨床獣医学フォーラム2020年次大会」(日本臨床獣医学フォーラム)
 期間:令和2年9月19日(土)～10月11日(日) 対象:動物看護師科 教務4名
 内容:知っておきたい犬の心臓病、薬の扱い方の常識と非常識 ほか複数講演視聴

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間:令和2年4月2日(木) 対象:ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部10名
 内容:学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月29日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.rap.ac.jp/information/file/21334/report_rap2019.pdf

公表時期: 2020年3月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明)

URL:<https://www.rad.ac.jp/information/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	スズキ ヒロアキ	所属部署	事務局
	氏名	鈴木 博昭	役職名	係長
	所在地	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38		
	TEL	053-455-2550	FAX	053-455-2211
	E-mail	hiroakis@souseikai.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）2020年度 動物看護師科																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			動物人間関係学Ⅰ	人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解できる。	1通	20		○				○			
	○			動物機能形態学Ⅰ	犬猫の動物の身体の構造、筋骨格系・呼吸器系・消化器系・循環器系・泌尿器系・内分泌系の機能を理解できる。	1通	58		○				○			
	○			動物疾病看護学Ⅰ	犬猫のバイタルサインと病的変化、基礎的な疾患を理解できる。	1通	58		○						○	○
	○			動物感染症学	犬猫の感染症、感染経路、予防法を理解し、内部寄生虫、外部寄生虫について、分類と予防ができる。	1通	46		○							○
	○			公衆衛生学	環境衛生、食品衛生、人獣共通感染症を通じて、人の健康維持・増進や疾病予防を理解できる。	1通	29		○							○
	○			飼養管理士総論	獣医療現場及び動物関連の法規について理解を深めると共に、個体に合った適正飼育を飼主に指導できる。	1通	58		○							○
	○			動物飼育学Ⅰ	基礎栄養素及び犬猫に必要な栄養素、ペットフードの基本的知識や適切な食餌管理についてアドバイスできる。	1通	58		○							○
	○			動物行動学ⅠA	犬猫の種類による特徴を知り、基本的行動様式から正しいハンドリング及び基本的なしつけを理解し、看護と飼主指導ができる。	1通	29		○							○
	○			動物行動学ⅠB	動物種による基本的動作や特徴を理解し、安全に飼育できる。	1前	24		○							○
	○			動物看護学	動物看護倫理と、動物看護における業務指針を理解し、適性な看護を実践できる。	1通	29		○							○
	○			動物看護実務Ⅰ	チーム医療に基づき、動物と飼い主に寄り添った基礎的な看護を実践できる。	1通	29		○							○
	○			動物臨床検査学	検体を用いる検査と生体検査の目的と意義を理解し、基礎的な検査を正しく実践できる。	1前	12		○							○
	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	衛生管理、備品管理、基本的な動物のハンドリングを身に付け、トレーニングを実践できる。	1通	29				○	○				○
	○			動物飼育実習Ⅰ	実際に動物を世話することで動物看護に必要な適切な観察と動物福祉を実践できる。	1通	58				○	○				○

15	○		グルーミング 実習 I	個体に応じたグルーミングが安全に出来る。	1 後	68					○	○				○
16	○		動物看護実習 I	看護知識の実践とし、診療現場に必要な基本的 看護を実践できる。	1 通	116					○	○				○
17	○		臨床検査実習 I	検査知識の実践とし、診療現場に必要な検体検 査及び生体検査に関する意義を理解し基本的な 実践ができる。	1 通	87					○	○				○
18	○		動物福祉論 I	動物関連施設における実習を通し、動物関連の 様々な職種を理解できる。	1 特別	20					○		○	○		
19	○		動物看護総合 実習 I	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等 の臨床経験から、専門職としての知識を活かして 技術を実践できる。	1 特別	200					○		○	○		
20	○		総合臨床実習 準備 I	総合臨床実習に望む学生として、安全に配慮し た基礎的な動物看護を実践できる。	1 後	18		○			○		○			
21	○		コンピュータ実 習 I	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用出 来る。	1 前	24					○	○		○		
22	○		クライアントエ デュケーション I A	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知 識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図 る。	1 通	27		○			○		○			
23	○		院内コミュニ ケーション I A	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践するこ とにより、社会で必要とされる能力を身に付け る。	1 通	27					○	○		○		
24	○		院内コミュニ ケーション I B	社会人としての常識を身に付けるとともに、サー ビス接客検定資格を取得する。	1 通	58		○			○				○	○
25	○		院内環境整備 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実 践することにより、社会で必要とされる能力を身 に付ける。	1 通	27					○	○		○		
26	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提 出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができ る。	1 通	16		○			○		○			
27	○		動物人間関係 学 II	HABがもたらす人と動物への影響を理解すると ともに、現代社会における動物関連諸問題への関 心が高まる。	2 通	10		○				○			○	
28	○		動物機能形態 学 II A	犬猫の免疫、神経及び感覚器系の機能、また、 エキゾチックアニマルの身体の構造を理解でき る。	2 通	58		○			○				○	○
29	○		動物機能形態 学 II B	実験動物、展示動物の社会的役割を理解すると 同時に、生態系における野生動物や自然環境保 護への関心が高まる。	2 後	17		○			○		○			
30	○		動物機能形態 学 II C	産業動物の管理について入手、飼育法及び食品 生産の仕組みを理解し、牧場での実習ができる。	2 後	34		○			○				○	
31	○		産業動物学 II B	産業動物について品種、解剖生理、飼育方法を 理解できる。	2 前	22		○			○				○	
32	○		動物病理学 II	発病のメカニズムと病理学的特徴を理解できる。	2 通	29		○			○				○	○

33	○	動物疾病看護学ⅡA	内科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解できる。	2通	58	○	○	○	○
34	○	動物疾病看護学ⅡB	外科的疾患について疾患の機序と症状、検査法、治療法を理解できる。	2通	58	○	○	○	○
35	○	動物薬理学	薬の作用機序と有害作用並びに獣医療現場で使用される主な薬剤の特性を理解し、薬剤を正しい取扱いが出来る。	2通	29	○	○	○	○
36	○	動物栄養学Ⅱ	5大栄養素の役割を理解し、身体に作用する仕組みを理解し、適切なアドバイスができる。	2通	29	○	○	○	
37	○	動物医療関係法規	主に獣医療現場及び動物関連の法の理念と目的を理解し、専門職として法律に遵守した看護を実践できる。	2後	17	○	○	○	
38	○	動物繁殖学	犬猫の繁殖生理を理解し、性行動、避妊、去勢等の正しい助言ができる。	2前	12	○	○	○	
39	○	動物行動学Ⅱ	動物の学習理論を理解し、正しいしつけと問題行動解決へのアドバイスができる。	2後	17	○	○	○	
40	○	動物福祉論Ⅱ	生命倫理を基本に、人と動物が共生するために必要な理念を身に付け、アドバイスできる。	2後	17	○	○	○	
41	○	動物飼育学Ⅱ	エキゾチックアニマルの疾患とその看護を理解し、適切なアドバイスができる。	2後	17	○	○	○	
42	○	臨床動物看護学A	各疾患による動物の身体的・精神的状況や、飼い主の状況から適切な看護法を考察できる。	2通	29	○	○	○	
43	○	臨床動物看護学B	動物看護過程を理解し、各疾患ごとの看護計画を立てる事ができる。	2通	58	○	○	○	
44	○	幼齢動物・老齢動物管理	新生子期から老齢期の管理を理解し、予防管理・看護・介護を在宅看護ができる。	2通	17	○	○	○	
45	○	動物看護実務Ⅱ	入院動物の痛みの管理、入退院や手術時における飼い主指導ができる。	2通	29	○	○	○	○
46	○	ドッグトレーニング実習Ⅱ	しつけにおける手順や要領を考慮し、問題行動の解決法をアドバイスできる。。	2後	24		○	○	○
47	○	動物飼育実習Ⅱ	動物の世話における実践力と応用力、また正確性と迅速性を後輩に指導できる。	2前	22		○	○	○
48	○	グルーミング実習Ⅱ	迅速力を身に付けると共に、日常のケア方法をアドバイスできる。	2前	36		○	○	○
49	○	保定実習Ⅱ	処置や個体に適した保定が実践出来る。	2通	29		○	○	○
50	○	臨床検査実習Ⅱ	臨床検査における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	2通	87		○	○	○

51	○		理学療法実習	外科手術の流れと、動物の回復過程を理解し、外科手術後の動物管理ができる。	2 特別	36					○	○					○	
52	○		外科動物看護実習Ⅱ	動物看護における手順や要領を考慮し、問題解決による看護が実践出来る。	2 通	87					○	○					○	○
53	○		総合臨床実習	受付業務、院内コミュニケーション、診療補助等の臨床経験から、専門職としての知識を活かして技術を実践できる。	2 特別	200					○		○	○				
54	○		総合臨床実習準備Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備なメールスキル等を理解し内定獲得につなげる。	2 前	11			○			○		○				
55	○		クライアントエデュケーションⅡA	社会人に必要な協調性を学びクラス活動に活かすことができる。	2 前	22			○			○		○				
56	○		クライアントエデュケーションⅡB	社会人としての常識を身に付けるとともに、ビジネス実務マナー検定資格を取得する。	2 前	11			○			○					○	○
57	○		院内コミュニケーションⅡA	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	29					○	○		○				
58	○		院内環境整備Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	29					○	○		○				
59	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2 通	29					○	○		○				
60	○		看護学特論Ⅲ	1・2年生にて学んだ知識・技術を学び直し、臨床の現場で活かすことができるようになる。	3 通	69					○	○		○				
61	○		動物看護実務Ⅲ	飼主が興味をひくPOP制作を学び、動物病院と飼い主のコミュニケーションツールを身に付ける事が出来る。	3 後	24					○	○		○				
62	○		獣医療倫理学	1年次に学んだ動物看護師倫理綱領の理解を深め、現場で応用出来るようになる。	3 後	11			○			○		○				
63		○	【選択2】総合動物実習行動学	(選択)1年次、2年次の基礎を発展させ、動物看護師が動物病院で必要となる動物の行動学を習得する事が出来る。	3 前	92			○			○						○
64	○		動物環境フィールドワーク	学内では学ぶ事ができない大動物、野生動物、産業動物の現状を知り、動物看護師が出来る事を自ら模索する事が出来る。	3 前	62					○			○	○			
65	○		動物看護実習Ⅲ	1年次、2年次で習得した看護知識・技術を反復練習によって向上させる事が出来る。	3 通	114					○	○						○
66	○		グルーミング実習Ⅲ	(選択)シャンプー仕上げの技術を発展させ、病状に合わせたグルーミングを身に付ける事が出来る。	3 通	92					○	○						○
67		○	【選択1】総合動物実習グルーミング	(選択)AAVサロントリマー検定の資格を取得する事が出来る。	3 通	161					○	○						○
68		○	【選択2-1】総合動物実習トレーニング	(選択)1年次、2年次の基礎を発展させ、動物看護師が動物病院で必要となる動物のトレーニング方法を習得する事が出来る。	3 後	69					○	○						○

69	○	【選択2-2】総合動物実習 応用看護実習	(選択)専門分野企業への就職に備えて、分野毎の特殊な看護技術を習得する事が出来る。	3 後	69					○	○		○				
70	○	ドッグトレーニング実習Ⅲ	犬の行動原理を学び、緊急時の犬の反応にも対応する事が出来る。	3 後	24					○	○						○
71	○	保定実習Ⅲ	犬、猫に加えてエキゾチックアニマルの保定方法を身に付け、実践する事が出来る。	3 通	46					○	○		○				
72	○	総合臨床実習	臨床の現場において、動物看護師の立ち位置、重要性、働き方を学び、就職後の自分の目標を見つける事が出来る。	3 前	200					○			○	○			
73	○	飼育技術	飼育動物の行動から飼育方法や器具・機材、食事を選択し適正に飼養できるようになる。	3 通	22					○	○		○				
74	○	実務実習	各就職先に合わせた知識・技術を向上し、即戦力となる事が出来る。	3 後	120					○	○		○				
75	○	社会学・経営学・リーダー論	数年間勤務した想定の上で、後輩指導時に活かす後輩との接し方、人がついてくる話し方を学び、長期勤務を見据える事が出来る。	3 通	46				○			○				○	○
76	○	心理学	人の心理学を学ぶ事で、スタッフ間のコミュニケーションを円滑にし、勤務しやすい企業環境を作る事が出来る。	3 前	24				○			○				○	○
77	○	院内コミュニケーションⅢA	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3 通	23					○	○		○				
78	○	院内環境整備Ⅲ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	3 通	23					○	○		○				
79	○	クライアントエデュケーションⅢ	社会人に必要な協調性を学びクラス活動に活かすことができる。	3 後	22				○			○		○			
80	○	LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	3 前	10				○			○		○			
81	○	特別活動	企業や専門獣医師による講義によって、最新の獣医療を身に付ける。	3 通	121					○	○					○	
合計					81科目	3547単位時間											

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業認定ライセンス試験合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	1期 4/1-8/31	2期 9/1-3/31

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																				
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日	中野 勳次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																				
学校法人 爽青会		平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																				
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	ペットエステ・トリミング科			平成27年文部科学省告示 号外第36号	-																			
学科の目的	飼い主様の要望を正確に表現できるトリミング技術を持ち、犬との共存社会に笑顔を提供できるドッグトリマーを育成する。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年 昼間	2136時間	394時間	0時間	1742時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
50人		49人	0人	2人	9人	11人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																				
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月25日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■学年末:3月5日			卒業・進級 条件	卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ・海外授業 他 ■サークル活動: 有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 動物病院、ペットショップ、トリミングサロン			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>20</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>ビジネス電話検定B</td> <td>③</td> <td>13</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物使用管理士2級</td> <td>③</td> <td>25</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サービス接遇検定	③	20	16	ビジネス電話検定B	③	13	11	愛玩動物使用管理士2級	③	25	21		
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
サービス接遇検定	③	20	16																						
ビジネス電話検定B	③	13	11																						
愛玩動物使用管理士2級	③	25	21																						
		■卒業者数 : 13 人 ■就職希望者数 : 13 人 ■就職者数 : 13 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %			※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
		■その他 (令和 元 年度卒業者に関する 令和2年5月1日 時点の情報)			■自由記述欄																				
中途退学 の現状	■中途退学者 4名 平成31年4月1日時点において、在学者49名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者45名(令和2年3月31日卒業生を含む)		■中退率 8.2%																						
		■中途退学の主な理由 体調不良・意欲減退																							
		■中退防止・中退者支援のための取組 入学前の学校・学科理解、入学後の体調管理指導の徹底																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2020年6月23-24日実施																								
当該学科の ホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/trim/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
中野 良太	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 理事長代理	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
早房 陽	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
伊藤 雪乃	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
水嶋 八千代	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 非常勤講師	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
古川 隆太	一般社団法人ジャパンハッピーグルーミング協会 専務理事 有限会社ハッピーベル 取締役 ゼネラルマネージャー	2020/4/1～2021/3/31(1年)	①
河原 聡	株式会社西武ペットケア 管理部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は8月および2月の年2回開催とする。(2020年度は8月を11月に延期)

(開催日時(今年度予定))

第1回 2020年11月予定

第2回 2021年2月予定

(開催日時(昨年度実績))

第1回 2019年8月2日 10:00～12:00

第2回 2020年1月22日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■ご意見1:個々のレベルに差が大きく、統一指導は難しい

→技術レベルごとにグループを分けて、指導内容をそれぞれ設定した

■ご意見2:トリマーとして必要な技術以外の勉強をもう少し精査したらどうか

→トリマーとして必要な他学科の技術を精査し、カリキュラムを改編した

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針		
<p>学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飼主様の要望を正確に表現できるトリミング技術を持ち、犬との共存社会に笑顔を提供できるトリマーを育成する。 ・ペットサロン、ペットショップ、動物病院各所で活躍するトリマーの「求められる技術知識」と「就職指導」を実施し、即戦力性の高い専門技術者を育成する。 		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容		
<p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>トリミングスキルと同等以上にトリマーに求められるコミュニケーション力・接客力を向上させるため、講義系授業においてもロールプレイングを交えた指導を実施。普段の授業の理解度と積極性、また筆記試験による習得度の確認の上、評価している。</p>		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
トリマー接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	浜松ビジネススクール
トリマー接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	浜松ビジネススクール
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
<p>就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。</p>		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<p>研修名「第9回PEIA認定講師養成講習会」(ペットエステティック国際協会ジャパン)</p> <p>期間: 令和1年9月25日(水)、26日(木) 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名</p> <p>内容: ペットエステ認定講師養成のための講習会</p>		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
<p>研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)</p> <p>期間: 令和2年3月2日(月)、13日(金) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務10名</p> <p>内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ</p>		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<p>研修名「アジア動物スキンケア検定」(株式会社QIX)</p> <p>期間: 開催日未定 対象: ペットエステ・トリミング科 教務1名</p> <p>内容: 犬のスキンケアが正しくできるようになるための標準的な知識とテクニックを学ぶ</p>		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
<p>研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)</p> <p>期間: 令和2年4月2日(木) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部10名</p> <p>内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ</p>		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月29日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.rap.ac.jp/information/file/21334/report_rap2019.pdf

公表時期: 2020年3月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明)

URL:<https://www.rad.ac.jp/information/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	スズキ ヒロアキ	所属部署	事務局
	氏名	鈴木 博昭	役職名	係長
	所在地	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38		
	TEL	053-455-2550	FAX	053-455-2211
	E-mail	hiroakis@souseikai.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）2020年度 ペットエステ・トリミング科2年制															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	1通	15		○				○	○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級に合格する。	1通	54		○			○			○
3	○			グルーミング理論Ⅰ	グルーミングに使用する道具、手順、心得を説明することが出来るようになる。(グルーミング実習内にて実施)	1通	27		○			○			○
4	○			犬猫の健康管理学Ⅰ	犬猫の栄養管理、ワクチン接種、寄生虫、解剖を学び、健康チェックを行う事が出来る。	1前	22		○			○		○	
5	○			犬種学	FCIで行われている犬種のグループ分けに従い、歴史、特徴を理解し、トリミングを行う事が出来る。	1前	11		○			○		○	
6	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設(盲導犬センター・ペットサロン)視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1特別	30					○	○	○	
7	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)を通して飼育管理ができる。	1通	54					○	○		○
8	○			グルーミング実習Ⅰ	犬のグルーミングを通して、犬の保定、手順、時間配分、犬とのコミュニケーションを身に付ける。	1通	558					○	○		○
9	○			動物看護実習Ⅰ	動物病院で行われている、健康診断、保定、消毒方法、検査を身に付ける。	1後	32					○	○		○
10	○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	犬への基本的なしつけを行いながら、その方法を学び、行動学的観点から犬の扱い方を身に付ける。	1通	22					○	○		○
11	○			トリマー接客技術Ⅰ	社会人としての基礎的なマナー、コミュニケーションを身に付け、サービス接客検定に合格する。	1通	54		○			○			○ ○

12	○		コンピュータ実習	Word、Excelの基本的な使用方法を身に付ける。	1前	22					○	○	○				
13	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1後	16				○		○	○				
14	○		清掃 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○	○				
15	○		挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○	○				
16	○		就職実務 I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16				○		○	○				
17	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1通	20				○		○	○				
18	○		グルーミング総論	実習や日誌を振り返り、欠点克服や得意を伸ばすことができる。	1後	16				○		○	○				
19	○		人と動物の関係学Ⅱ	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6				○			○	○			
20	○		ペットショップ実務	ペットショップで接客を行い、販売業務を実践できる。	2後	11				○		○	○				
21	○		グルーミング理論Ⅱ	犬種の特徴をグルーミングで表現、説明できる。	2前	11				○		○		○			
22	○		動物行動学	犬の行動を理論的に理解し、説明できる。	2通	21				○		○	○				
23	○		犬猫の健康管理学Ⅱ	犬猫のフードと栄養、犬の繁殖、遺伝について学び、正しいブリーディングを説明できる。	2後	22				○		○	○				
24	○		トリミング実習	カットスタイルを学び、実際に犬にトリミングを実践できる。	2通	444						○	○			○	
25	○		ペットエステ実習	ペットエステの理論と技術を学び国際資格を取得する。	2後	44						○	○	○			

26	○		動物看護実習Ⅱ	動物病院でのオーナーコミュニケーション、電話対応、健康診断を身に付け実践できる。	2前	20					○	○		○				
27	○		ドッグトレーニング実習Ⅱ	犬の行動から、精神面を推測し、トリミングを行うことができるようになる。	2後	20					○	○					○	
28	○		動物飼育実習Ⅱ	学校飼育動物(犬・猫・ハムスター・モルモット・フェレット・うさぎ・インコ)をとおして飼育方法を説明できる。	2前	20					○	○		○				
29	○		クリップ研究	ケネルクリップ、ペットクリップの研究をし、お客様へ伝える事が出来る。	2前	20			○			○		○				
30	○		海外授業	海外におけるトリミングのあり方を学び、日本流トリミングのあり方や将来を考えることができる。	2後	30						○		○	○			
31	○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2前	200						○		○	○			
32	○		トリマー接客技術Ⅱ	接客対応を自分から考えて行えるよう、ロールプレイングを交えて学び、ビジネス実務マナー検定に合格する。	2通	21			○				○				○	○
33	○		清掃Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21						○	○		○			
34	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2通	21						○	○		○			
35	○		LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2通	21			○				○		○			
36	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施し内定獲得につなげる。	2前	10			○				○		○			
37	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を理解する事が出来る。	2後	150						○	○		○			
合計				37科目	2136単位時間													

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業認定ライセンス試験合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																						
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日	中野 勤次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																						
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																						
学校法人 爽青会		平成20年3月20日	理事長 中野 勤次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																						
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																					
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	ドッグ・ウェルネス科			平成29年文部科学省告示 号外第39号	—																					
学科の目的	犬の健康と長生きを支えるとともに、飼い主に運動・食事・しつけを楽しく教え、犬との生活全般のアドバイスができる犬の専門家を育成する。																										
認定年月日	令和元年3月25日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	2053時間	502時間	0時間	1551時間	0時間	0時間																				
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																					
80人		31人	0人	3人	7人	10人																					
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																						
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月25日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■学年末:3月5日			卒業・進級条件	卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ・海外授業 他 ■サークル活動: 有																						
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) ドッグリゾートホテル、ペットショップ、動物病院、ペットホテル ■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施 ■卒業者数 : 30 人 ■就職希望者数 : 30 人 ■就職者数 : 30 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)			主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>18</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物使用管理士2級</td> <td>③</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するが記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	サービス接遇検定	③	18	16	愛玩動物使用管理士2級	③	17	16								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																								
サービス接遇検定	③	18	16																								
愛玩動物使用管理士2級	③	17	16																								
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成31年4月1日時点において、在学者31名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者29名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学前の学校・学科理解、入学後の体調管理指導の徹底			■中退率 6.5%																							
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2020年6月23-24日実施																										
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/training/																										

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
中野 良太	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 理事長代理	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
北風 孝広	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
大橋 彩矢香	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
山形 幸輔	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
鈴木 博昭	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 事務局	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
東海林 克彦	公益財団法人日本愛玩動物協会 会長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	①
森村 晃一	株式会社西武フォレストヒルズ 代表 ワンコネット那須協議会 会長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は9月および2月の年2回開催とする。

(開催日時(今年度予定))

第1回 2020年9月8日 9:30～11:00

第2回 2021年2月予定

(開催日時(昨年度実績))

第1回 2019年7月31日 14:00～16:00

第2回 2020年2月14日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■ご意見1:ペット共生住宅関係での動物系専門学校出身者の活躍の場について

→共生住宅の需要は高まっているが、現状は動物系専門学校よりも建築系または営業職としてのスキルを求める傾向が強い。建築系を学ぶ学生にペットの知識を伝えられる仕組みがあると、業界としても広がっていく。

■ご意見2:犬と猫との暮らしの教科書というテキストが、飼育から共生までを網羅して、導入としては良いのでは
→入学前課題としてテキストを導入

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針		
<p>学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬の飼い主に運動・食事・しつけを楽しく教え、犬との生活全般のアドバイスができるドッグライフコンシェルジュを育成する ・資格検定対策授業を強化し合格率向上を図る 		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容		
<p>※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記</p> <p>飼い主様との円滑なコミュニケーションを図り、適切なカウンセリングが行えるよう、接客対応の専門家から接客対応について学んでいる。専門性の高い授業であり、知識を身に付けたことを確認するため、実技試験と課題による評価を実施している。</p>		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
ビジネス接客マナー	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指す。	浜松ビジネススクール
ビジネスコミュニケーション	インターンシップ先(就職先)で必要になる社会人ビジネス常識を身につける。	浜松ビジネススクール
接客ロールプレイ・飼主カウンセリング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングができる。	浜松ビジネススクール
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
<p>就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。</p>		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<p>研修名「ニューツーリズムによる観光の展開」(公益社団法人日本愛玩動物協会)</p> <p>期間: 令和2年1月28日(火) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務1名</p> <p>内容: エコツーリズムやペットツーリズムの適正な推進を図るための知見や今後の検討課題などについて考える</p>		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
<p>研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)</p> <p>期間: 令和2年3月2日(月)、13日(金) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務10名</p> <p>内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ</p>		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
<p>研修名「保護動物」(浜松市動物愛護教育センター)</p> <p>期間: 令和2年8月3日(月) 対象: ドッグ・ウェルネス科 教務2名</p> <p>内容: 保護動物との接し方と保護状況、飼育管理について</p>		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
<p>研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)</p> <p>期間: 令和2年4月2日(木) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部10名</p> <p>内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ</p>		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月29日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.rap.ac.jp/information/file/21334/report_rap2019.pdf

公表時期: 2020年3月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明)

URL:<https://www.rad.ac.jp/information/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	スズキ ヒロアキ	所属部署	事務局
	氏名	鈴木 博昭	役職名	係長
	所在地	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38		
	TEL	053-455-2550	FAX	053-455-2211
	E-mail	hiroakis@souseikai.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）2020年度 ドッグ・ウェルネス科																
分類	必 修 選 択 必 修 自 由 選 択			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			人と動物の関 係学Ⅰ	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介 在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動 物の共生に寄与する。	1 通	15		○				○		○	
2	○			ドッグウェルネ ス概論	犬の健康維持・増進のための生理・習性・生態等 について、ペット栄養学、しつけ学、動物福祉等を 学び、ドッグトレーナーとして顧客対応する際の基 礎知識を体得する。	1 通	54		○			○			○	
3	○			心理学概論	広い視野でものごとを捉えられるしなやかな心を持 つ。授業を受ける前後で、ものごとの捉え方が 変わった事を認識出来る。	1 前	22		○			○		○		
4	○			動物看護学Ⅰ	犬猫のかかりやすい病気や感染症の感染経路、予防 法を理解すると共に、身体の構造、筋骨格・呼吸器・消 化器・循環器・泌尿器・内分泌系の機能を理解し、ペット ショップや動物病院で働く知識を身につける。	1 通	54				○	○		○		
5	○			飼養管理士総 論	動物関連の法規について理解を深め、個体に 合った適正飼育を飼い主に指導できる愛玩動物 飼養管理士2級合格を目指す。	1 通	54		○			○			○	
6	○			ドッグフィットネ ス概論Ⅰ	動物のフィットネスの歴史と現状を知り、犬のウェ ルネスケアと管理の重要性を理解する。	1 通	27		○			○			○	
7	○			ペット産業研究	ペットビジネスの基礎知識としてペット業界を俯瞰 する。流通・小売の知識を活かし、職場で実践で きる。	1 通	54		○			○		○		
8	○			ドッグトレーニ ング実習Ⅰ	犬のモチベーションをコントロールし、正の強化・ 負の罰を主としたトレーニング技術を習得できるこ とを目指す。	1 通	108					○	○		○	
9	○			ドッグフィットネ ス実習Ⅰ	プールやバランスボールなどを使った、ドッグ フィットネスの技術習得を目指す。	1 通	54					○	○		○	
10	○			動物看護実習 Ⅰ	動物病院で必要とされる動物病院スタッフの役割 を理解し、消毒・滅菌・保定・診察業務全般スキル の習得を目指す。	1 通	108					○	○		○	
11	○			グルーミング実 習	犬のグルーミングに関する知識と技術を学び、コ ミュニケーション力とグルーミング技術の習得を目 指す。	1 通	108					○	○		○	

12	○		動物飼育実習 I	動物取扱者として必要な、犬・猫・ウサギ・モルモット・ハムスター・インコの適切な飼育方法を理解習得する。	1通	54					○	○	○				
13	○		浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	1後	6					○		○	○			
14	○		動物関連施設実習	最先端動物関連施設視察研修を行い、業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1特別	30					○		○	○			
15	○		健康管理実習	ライフステージに応じた健康維持・増進の方法を学び、飼い主にアドバイスができる。	1後	32					○	○		○			
16	○		ビジネス接客マナー (サービス接遇・電話対応)	動物業界におけるビジネスマナーとコミュニケーション技法を習得し、飼い主と社会人として適切な会話ができることを目指す。	1通	54			○			○			○	○	
17	○		コンピュータ実習 I	WordとExcelの使い方を理解し、実践的に使用する事が出来るようにする。	1前	22			○			○		○			
18	○		スマイルコミュニケーション	人前で運動・食事・しつけ指導を行っている最中でも、笑顔で楽しく実技を行うことができる。	1後	16			○			○				○	
19	○		就職実務 I	就職活動に望む学生としての身だしなみや履歴書の書き方、面接練習等を通して、目指す職種を明確にする。	1後	16			○			○		○			
20	○		清掃 I	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	1通	27					○	○		○			
21	○		挨拶 I	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	1通	27					○	○		○			
22	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1通	20			○			○		○			
23	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1後	16			○			○		○			
24	○		人と動物の関係学 II	【集中講義】人と動物の絆(HAB)の理念と動物介在活動・療法・教育など社会活動を理解し、人と動物の共生に寄与する。	2通	6			○					○		○	
25	○		動物行動学	動物の学習の仕組みや条件付け学習を習得し、犬の行動を理論的に理解する。	2通	42			○			○				○	

26	○		健康指導学Ⅱ	ペット栄養学の観点から犬種ごとの特徴や疾患別の食事管理等を理解する。	2通	21		○			○							
27	○		動物看護学Ⅱ	動物看護の視点から繁殖を学ぶと共に、内外部寄生虫についての分類と予防法を理解する。	2通	21					○	○			○			
28	○		犬種学・猫種学	それぞれの犬種・猫種の特徴や注意点、遺伝性疾患を理解する。	2通	21		○			○				○			
29	○		ドッグフィットネス実習Ⅱ	プールやバランスボールなどを使った、フィットネスの技術習得を目指す。	2通	42					○	○						○
30	○		ドッグトレーニング実習Ⅱ	1年次のトレーニング実習を応用し、自発的な行動を引き出すトレーニング方法の習得と問題行動対処法を理解し、マナーハンドラーテスト合格を目指す。	2通	105					○	○						○
31	○		動物看護実習Ⅱ	動物病院における実務を理解し、動物看護師として働く際の補助作業を実践的に学ぶ。	2通	42					○	○						○
32	○		グルーミング実習Ⅱ	ペットショップ店員や動物病院スタッフとして求められるグルーミング技術を習得し、就職活動に役立てる。	2通	63					○	○						○
33	○		ドッグスポーツ・ハンドリング実習	様々なドッグスポーツを犬に教えることで、犬の個性を掴み、ハンドリング力の向上を目指す。	2通	84					○	○						○
34	○		浜松市動物愛護教育センター実習	動物愛護センターで保護されている犬のトレーニングを行い、動物保護の現状を理解する。	2通	6					○				○	○		
35	○		動物飼育実習Ⅱ	動物の世話を1年生に指導することで、実践力と応用力、また正確性と迅速性を身につける。	2前	20					○	○						○
36	○		一般犬トレーニング実習	一般の飼い主様から犬をお借りし、一般家庭犬のトレーニング方法や飼い主様への対応を習得し、実践力を身につける。	2通	84					○	○						○
37	○		[動物衛生C]動物看護実務	動物病院での実務的項目を反復学習し、動物病院スタッフとして求められる知識・技能を身につけた上で、顧客対応ができる。	2通	84					○	○						○
38	○		[ドッグプロC]ペット栄養実習	ペットに必要な栄養素や食餌管理を学び、栄養指導の実践力を身につける。	2通	(40)					○				○			○
39	○		[ドッグプロC]ペットツーリズム	犬と同伴で利用できる施設やサービスを理解し、飼い主等にその概要や利用の際のしつけマナー等について説明できる。	2通	(44)					○				○	○		

40	○		海外授業	海外最先端のウェルネスケアを学び、日本流ペットケアの在り方や日本のペット業界の未来を考える。	2 後	30				○		○	○				
41	○		インターンシ ップ	インターンシップを通して、プロとなるために不可欠な課題の発見とあるべき姿を明確にする。	2 前	200				○		○	○				
42	○		ビジネスコミュ ニケーション	インターンシップ先(就職先)で必要になる社会ビジネス常識を身につけ、サービス接客検定3級に合格できる。	2 前	10			○		○				○	○	
43	○		接客ロールプ レイ・ 飼主カウンセリ ング	身につけた問題行動の知識を使って、飼い主カウンセリングができる。	2 後	11			○		○				○	○	
44	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、履歴書作成・社会保障の理解、面接対策を行う。	2 前	10			○		○				○		
45	○		清掃Ⅱ	トイレ・実習室・HR教室・校舎共有部分など、使う前よりきれいな清掃ができる。	2 通	21					○	○			○		
46	○		挨拶Ⅱ	笑顔で、明るいあいさつを、人より早くできる。	2 通	21					○	○			○		
47	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人として、また新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2 後	120					○	○			○		
48	○		LHR	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2 前	11			○		○				○		
合計					48科目	2053単位時間										単位	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業認定ライセンス試験合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																				
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日	中野 勲次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																				
学校法人 爽青会		平成20年3月20日	理事長 中野 勲次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																				
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物海洋飼育・アクアリウム科			平成27年文部科学省告示 号外第36号	—																			
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年		昼間	2035時間	466時間	0時間	1569時間	0時間	0時間																
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人		73人	0人	3人	12人	15人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																				
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月25日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■学年末:3月5日			卒業・進級条件	卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ・海外授業 他 ■サークル活動: 有																				
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 動物園・生産牧場・ペットショップ など			主な学修成果(資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物分類技能検定</td> <td>③</td> <td>28</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物使用管理士2級</td> <td>③</td> <td>38</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	生物分類技能検定	③	28	15	サービス接遇検定	③	40	38	愛玩動物使用管理士2級	③	38	35		
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
生物分類技能検定	③	28	15																						
サービス接遇検定	③	40	38																						
愛玩動物使用管理士2級	③	38	35																						
	■卒業者数 : 38 人 ■就職希望者数 : 38 人 ■就職者数 : 38 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %				※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)																				
	■その他				■自由記述欄																				
中途退学の現状	■中途退学者 5名 平成31年4月1日時点において、在学者73名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者68名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲減退・学費工面			■中退率 6.8%																					
	■中退防止・中退者支援のための取組 入学前の学校・学科理解、学費理解の徹底																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2020年6月23-24日実施																								
当該学科のホームページURL	https://www.rap.ac.jp/rear/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
中野 良太	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 理事長代理	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
山本 恵士	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
酒井 晃敏	関東生乳販売農業協同組合連合会 業務部販売課	2020/4/1～2021/3/31(1年)	①
新海 貴志	朝霧ハイランド株式会社 観光部課長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は9月および1月の年2回開催とする。

(開催日時(今年度予定))

第1回 2020年9月28日 14:00～16:00

第2回 2021年1月予定

(開催日時(昨年度実績))

第1回 2019年8月6日 13:00～15:00

第2回 2020年2月3日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■ご意見1:安全管理、事故ゼロについて、しっかりと意識させて欲しい

→ 飼育ハンドブックの「危機管理」項目を授業に取り入れた

■ご意見2:水の生き物を飼育するための維持装置の理解が欲しい

→希望学生になるが「0からの水槽制作」や「濾過器の改造」などを推奨するようになった

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する
 ・「幅広い知識をお客様と動物たちに還元し自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員の育成」のため、インターンシップや選考実習において必要な立居振る舞い、基本的な動物の専門知識を実践から学ぶ。
 ・自分自身が「動物好き」という立場から、動物とお客様を満足させる「プロ」の立場へ意識の転換を図る。
 ・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に柔軟な発想を持って、自分の言動やコミュニケーションツールを変化させる事を実践する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ドルフィン研修において、イルカの生簀にてトレーニング・給餌等の実地訓練を行う。鯨類に関する講義や海での泳法などの実技を織り交ぜ、学習成果は日誌にまとめる。実習の様子と日誌の内容などを、直接指導した現地スタッフらに評価頂き、立ち居振る舞い、日誌の構成などにも評価頂く。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	竹中社中
海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。1年次に提携企業でドルフィン研修あり。	マリンロード
飼育実習 陸	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	豊橋総合動植物公園
プレゼンテーション トレーニング	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表することが出来る	浜松ビジネススクール

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「エンリッチメント大賞2019受賞者講演会」(市民ZOOネットワーク)
 期間: 令和1年12月7日(土) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務1名
 内容: エンリッチメントを施した飼育展示に関する講演の聴講

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間: 令和2年3月2日(月)、13日(金) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務10名
 内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「オンラインサファリ講座」(株式会社道祖神)
 期間: 令和2年6月20日(土) 対象: 動物海洋飼育・アクアリウム科 教務1名
 内容: アフリカでの野生動物の分布と行動について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間: 令和2年4月2日(木) 対象: ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部10名
 内容: 学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月29日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.rap.ac.jp/information/file/21334/report_rap2019.pdf

公表時期: 2020年3月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明)

URL:<https://www.rad.ac.jp/information/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	スズキ ヒロアキ	所属部署	事務局
	氏名	鈴木 博昭	役職名	係長
	所在地	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38		
	TEL	053-455-2550	FAX	053-455-2211
	E-mail	hiroakis@souseikai.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）2020年度 動物海洋飼育・アクアリウム科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心を高められる。	1通	15		○				○	○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格取得ができる。	1通	54		○			○			○
3	○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1通	54		○			○		○	
4	○			動物看護学Ⅰ	感染の成り立ちと消毒手法を理解し、正しい知識で防疫への行動ができる。	1前	11		○			○		○	
5	○			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1前	33		○			○			○
6	○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1前	22		○			○		○	
7	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設（動物園・水族館等）視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1特別	30					○	○	○	
8	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物（イヌ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど）を通して飼育管理の基礎ができる。	1通	81					○	○	○	
9	○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押しえた馴致ができる。	1通	54					○	○		○
10	○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1前	22					○	○	○	
11	○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物（チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど）を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	122					○	○	○	

12	○		飼育実習 水 I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	121					○	○		○			
13	○		学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解できる。	1後	112					○		○	○			
14		○	【選択】畜産学実習	産業動物業界を理解し、就職先の1つとして検討できる。生産物への正しい分類ができる。	1後	48					○	○				○	
15		○	【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォーターダイバーの資格取得を出来るようになる。	(1後)	(48)					○	○				○	
16	○		コンピュータ実習 I	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1前	22					○	○				○	
17	○		プレゼンテーショントレーニング I	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	1通	54					○	○				○	○
18	○		挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○				○	
19	○		掃除 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○				○	
20	○		就職実務 I	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16				○			○			○	
21	○		一般常識 I	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1後	16				○			○			○	
22	○		LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1前	11				○			○			○	
23	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方を履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1通	20				○			○			○	
24	○		人と動物の関係学 II	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6				○					○		○
25	○		動物看護学 II	飼育や現場において看護に関する知識を利用することが出来る。	2通	42				○			○			○	

26	○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2通	42		○			○		○					
27	○		パピーケア概論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期の飼育管理について正しく説明できる。	2後	11		○			○		○					
28	○		動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について学び、倫理観を持ってプロとして業務にあたる事ができる。	2後	11		○			○							○
29	○		ペットショップ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法について正しく理解し活用できる。	2後	22		○			○		○					
30		○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2前	20		○			○							○
31		○	【選択】海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2前	(20)		○			○							○ ○
32	○		動物飼育実習Ⅱ	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2前	30					○	○						○
33	○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2後	42					○	○						○
34	○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2後	22					○	○						○
35	○		グルーミング実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2後	16					○	○						○
36	○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2通	79					○	○						○
37	○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2通	79					○	○						○
38	○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2前	70					○			○	○			○
39	○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、活用できる。	2後	22					○			○				○

40	○		フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	2 後	33					○		○		○			
41		○	【選択】野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2 前	20				○			○				○	
42		○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ楽しく実施できるようになる。	2 後	22					○		○			○		
43		○	【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2 通	(42)				○			○				○ ○	
44	○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2 前	200						○		○		○		
45	○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2 前	30						○		○		○		
46	○		スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことができる。	2 前	10				○				○			○	
47	○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある発表ができる。	2 通	42							○	○			○ ○	
48	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	21							○	○			○	
49	○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	21							○	○			○	
50	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2 前	10				○				○			○	
51	○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における突破を目指し一般教養試験での突破を目指す。	2 前	10				○				○			○	
52	○		LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2 前	10				○				○			○	
53	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2 後	120							○	○			○	
合計				53科目	2051単位時間													単位

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業認定ライセンス試験合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地																				
専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー		平成21年3月25日	中野 勳次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38 (電話) 053-455-2550																				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地																				
学校法人 爽青会		平成20年3月20日	理事長 中野 勳次郎		〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町130-12 (電話) 053-452-2121																				
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士																			
文化・教養	専門課程(文化・教養関係)	動物海洋飼育・アクアリウム科			平成27年文部科学省告示 号外第36号	—																			
学科の目的	幅広い知識をお客様と動物たちに還元し、自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員を育成する。																								
認定年月日	平成26年3月31日																								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																		
	2年 昼間	2035時間	466時間	0時間	1569時間	0時間	0時間																		
生徒総定員		生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																			
80人		73人	0人	3人	12人	15人																			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 ABCD評価・マトリクス評価																				
長期休み	■学年始:4月6日 ■夏季:7月25日～8月24日 ■冬季:12月25日～1月4日 ■学年末:3月5日			卒業・進級 条件	卒業認定ライセンス試験合格 成績評価が全てC以上 年間要出席日数の80%以上出席																				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ・入学前課題の実施(入学半年前より) ・保護者との連携 ・補習の実施			課外活動	■課外活動の種類 インターンシップ・海外授業 他 ■サークル活動: 有																				
就職等の 状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) 水族館・アクアショップ・ペットショップ など ■就職指導内容 ・インターンシップに向けた業界研究指導 ・就職課・担任との就職面談の実施			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																				
	■卒業者数 : 38 人 ■就職希望者数 : 38 人 ■就職者数 : 38 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 (令和 元年度卒業生に関する 令和2年5月1日 時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生物分類技能検定</td> <td>③</td> <td>28</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>40</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>愛玩動物使用管理士2級</td> <td>③</td> <td>38</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	生物分類技能検定	③	28	15	サービス接遇検定	③	40	38	愛玩動物使用管理士2級	③	38	35		
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																						
生物分類技能検定	③	28	15																						
サービス接遇検定	③	40	38																						
愛玩動物使用管理士2級	③	38	35																						
中途退学 の現状	■中途退学者 5名 平成31年4月1日時点において、在学者73名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者68名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 意欲減退・学費工面			■中退率 6.8%																					
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・特待生制度(選考結果に基づき授業料最大全額免除) ・通学支援制度(交通費または下宿費の一部支給:最大18万円) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 JAMOTE認証サービス株式会社 2020年6月23-24日実施																								
当該学科の ホームページ URL	https://www.rap.ac.jp/rear/																								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

- ・挨拶、掃除は社会人の初歩的かつ重要技能と位置付け、企業との連携授業においても徹底する。
- ・「就職後にこそ伸びしろのある」人材育成のために、接客やコミュニケーションスキルを必須履修事項として取り組む。
- ・教育課程編成委員会、企業訪問を実施し、業界の動向や必要とされる技術の実態を常に刷新する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

委員会は専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーの教育課程の編成に対し、年2回開催される教育課程編成委員会にて意見を発し、また教育課程の運営を評価する権限を有する。教育課程編成委員会での討議内容は議事録として残し、学科長を中心に次年度学科運営計画を策定。学校長の承認を経て、講師会にて常勤・非常勤講師に共有する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

2020年7月31日現在

名前	所属	任期	種別
中野 勸次郎	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 学校長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
中野 良太	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 理事長代理	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
藤原 研一	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教頭	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
堀内 貴充	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
小亀 雅也	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
山本 恵士	専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部	2020/4/1～2021/3/31(1年)	
酒井 晃敏	関東生乳販売農業協同組合連合会 業務部販売課	2020/4/1～2021/3/31(1年)	①
新海 貴志	朝霧ハイランド株式会社 観光部課長	2020/4/1～2021/3/31(1年)	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

教育課程編成委員会は9月および2月の年2回開催とする。

(開催日時(今年度予定))

第1回 2020年9月28日 14:00～16:00

第2回 2021年1月予定

(開催日時(昨年度実績))

第1回 2019年8月6日 13:00～15:00

第2回 2020年2月3日 13:00～15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

■ご意見1:安全管理、事故ゼロについて、しっかりと意識させて欲しい

→ 飼育ハンドブックの「危機管理」項目を授業に取り入れた

■ご意見2:水の生き物を飼育するための維持装置の理解が欲しい

→希望学生になるが「0からの水槽制作」や「濾過器の改造」などを推奨するようになった

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学生を指導する講師として以下の役割を専任教員と共有する
 ・「幅広い知識をお客様と動物たちに還元し自然・動物・人をつなぐ架け橋になれる飼育員の育成」のため、インターンシップや選考実習において必要な立居振る舞い、基本的な動物の専門知識を実践から学ぶ。
 ・自分自身が「動物好き」という立場から、動物とお客様を満足させる「プロ」の立場へ意識の転換を図る。
 ・常に相手の気持ちになって考え、相手に伝わる様に柔軟な発想を持って、自分の言動やコミュニケーションツールを変化させる事を実践する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

ドルフィン研修において、イルカの生簀にてトレーニング・給餌等の実地訓練を行う。鯨類に関する講義や海での泳法などの実技を織り交ぜ、学習成果は日誌にまとめる。実習の様子と日誌の内容などを、直接指導した現地スタッフらに評価頂き、立ち居振る舞い、日誌の構成などにも評価頂く。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	竹中社中
海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。1年次に提携企業でドルフィン研修あり。	マリンロード
飼育実習 陸	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	豊橋総合動植物公園

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

就業規則 第26条(教育)に定める通り、職員は常に教養と品性を高め、学校が期待する社員像を目指して研鑽に努めなければならない。そのために学校は職員に対して一般的または職務上必要な一般的な知識および情報に関する教育、専門的な知識、技能に対する教育、管理、監督者教育などの教育を行う。研修等については教務責任者が職員の職能や今後の中・長期的な学校運営を考慮して計画し、実施する。また、当初の計画にない場合でも、必要に応じて実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「エンリッチメント大賞2019受賞者講演会」(市民ZOOネットワーク)
 期間:令和1年12月7日(土) 対象:動物海洋飼育・アクアリウム科 教務1名
 内容:エンリッチメントを施した飼育展示に関する講演の聴講

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間:令和2年3月2日(月)、13日(金) 対象:ルネサンス・ペット・アカデミー 教務10名
 内容:学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「オンラインサファリ講座」(株式会社道祖神)
 期間:令和2年6月20日(土) 対象:動物海洋飼育・アクアリウム科 教務1名
 内容:アフリカでの野生動物の分布と行動について

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「コーチング研修」(浜松ビジネススクール)
 期間:令和2年4月2日(木) 対象:ルネサンス・ペット・アカデミー 教務部10名
 内容:学生からの質問に対する、相手に伝わる返答の仕方、心構えを学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

就職先企業関係者、職能団体関係者等により構成される学校関係者評価委員会により、年度末に実施する「自己点検・評価」を外部の目線で評価し、あわせて授業視察、学内施設見学を実施することにより、ルネサンス デザイン・美容専門学校および専門学校ルネサンス・ペット・アカデミーにおける教育の質保証・向上を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	1 教育理念・目標
(2) 学校運営	2 学校運営
(3) 教育活動	3 教育活動
(4) 学修成果	4 学修成果
(5) 学生支援	5 学生支援
(6) 教育環境	6 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	7 学生の受入れ募集
(8) 財務	9 財務
(9) 法令等の遵守	8 教育の内部質保証システム
(10) 社会貢献・地域貢献	10 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	11 国際交流(必要に応じて)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

卒業生フォロー体制について、再就職希望者への窓口はあったほうが良い
→ 再就職希望者問い合わせ用メールアドレスを作成し、ホームページ内「卒業生ページ」に設置
就職課を窓口として、次回WEBサイト更新時に公開予定

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年8月29日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
鳥居春仁	常葉大学浜松基礎教育センター長／元浜松北高校校長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
上野弘道	公益社団法人日本動物病院協会 専務理事／日本動物医療センター院長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員
安武伸朗	常葉大学造形学部長／キャリアセンター長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	教育専門家
平井伸幸	株式会社レボル 代表取締役社長	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	企業等の委員
坂元祥彦	一般財団法人 動物看護師統一認定機構 業務執行理事	令和2年2月29日～令和4年3月31日(2年)	業界・団体委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL:http://www.rap.ac.jp/information/file/21334/report_rap2019.pdf

公表時期: 2020年3月31日

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

在校生の出身高等学校に対しては、年数回の高校訪問において在籍状況、就職活動進捗などをリアルタイムで報告・情報提供/収集し、学生指導の質的向上を図る。公式Webサイトは主に入学希望者とその保護者、就職企業等に対する情報提供、Facebookページは卒業生に向けた情報発信と、役割を分ける。学校運営状況については毎年財務状況に関する書類を公開・更新する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	理事長挨拶 法人概要 沿革(公式WEBサイト)
(2) 各学科等の教育	学科紹介(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(3) 教職員	講師・設備(公式WEBサイト)
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職実績(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	授業ブログ(公式WEBサイト)
(6) 学生の生活支援	学科紹介・保護者の皆様へ(公式WEBサイト)
(7) 学生納付金・修学支援	募集要項(公式WEBサイト・学校案内パンフレット)
(8) 学校の財務	財務計算に関する書類(公式WEBサイト)
(9) 学校評価	自己点検・評価および学校関係者評価報告書(公式WEBサイト)
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(公式WEBサイト ・ 学校案内パンフレットの配布 ・ 説明会での説明)

URL:<https://www.rad.ac.jp/information/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	スズキ ヒロアキ	所属部署	事務局
	氏名	鈴木 博昭	役職名	係長
	所在地	〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町134-38		
	TEL	053-455-2550	FAX	053-455-2211
	E-mail	hiroakis@souseikai.ac.jp		

(備考)

・用紙の大きさは、日本産業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

専門課程（文化・教養関係）2020年度 動物海洋飼育・アクアリウム科															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			人と動物の関係学Ⅰ	人と動物の関係に関して、現代社会における動物関連諸問題への関心を高められる。	1通	15		○				○	○	
2	○			飼養管理士総論	動物飼養に関する知識の習得を通じ、愛玩動物飼養管理士2級の資格取得ができる。	1通	54		○			○		○	
3	○			犬猫管理学	犬・猫の成長やしつけ、食餌、解剖生理など全般の基礎知識を学び、正しい説明ができる。	1通	54		○			○		○	
4	○			動物看護学Ⅰ	感染の成り立ちと消毒手法を理解し、正しい知識で防疫への行動ができる。	1前	11		○			○		○	
5	○			トピックス	現場で活躍する講演者の話を聞いて、さらなる探求心を発揮できる。	1前	33		○			○		○	
6	○			動物園水族館学Ⅰ	動物園・水族館の社会に対する役割や専門用語について正しい説明ができる。	1前	22		○			○		○	
7	○			動物関連施設実習	最先端動物関連施設（動物園・水族館等）視察研修を行い業界の広がりを知り、将来のきっかけをつくる。	1特別	30					○	○	○	
8	○			動物飼育実習Ⅰ	学校飼育動物（イヌ・ネコ・ハムスター・モルモット・フェレット・ウサギ・インコなど）を通して飼育管理の基礎ができる。	1通	81					○	○	○	
9	○			アニマルトレーニング実習Ⅰ	犬のトレーニング技術と行動学を通じ、接し方の基礎を押さえた馴致ができる。	1通	54					○	○	○	
10	○			動物看護実習Ⅰ	動物の健康管理、滅菌、消毒、各種検査を学び、基本的検査手順を進める事ができる。	1前	22					○	○	○	
11	○			飼育実習 陸Ⅰ	学校飼育動物（チンチラ・フクロモモンガ・スナネズミ・カメ・ヘビ・トカゲなど）を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	122					○	○	○	

12	○		飼育実習 水 I	学校飼育魚類(淡水魚・海水魚)を通して基本的な飼育管理ができる。	1通	121					○	○		○		
13	○		学外演習 I	飼育施設と現場スタッフの講義等を通して、業界と飼育員像を理解できる。	1後	112					○		○	○		
14		○	【選択】畜産学実習	産業動物業界を理解し、就職先の1つとして検討できる。生産物への正しい分類ができる。	1後	48					○	○			○	
15		○	【選択】ダイビング実習	潜水士試験の突破 及び PADIオープンウォーターダイバーの資格取得を出来るようになる。	(1後)	(48)					○	○			○	
16	○		コンピュータ実習 I	ワード、パワーポイント等の基本的な使用方法を身に付け、パソコンでのレポート作成ができる。	1前	22					○	○			○	
17	○		プレゼンテーショントレーニング I	ビジネスマナーとプレゼンテーションを学び、不安なく人前で発表する事ができる。	1通	54					○	○			○	○
18	○		挨拶 I	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○			○	
19	○		掃除 I	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	1通	27					○	○			○	
20	○		就職実務 I	就職活動に臨む学生としての身だしなみ、履歴書の書き方、面接練習等を通して、就職活動を開始できる。	1後	16				○		○			○	
21	○		一般常識 I	動物園・水族館・アクアショップ・実験動物業界等の一般試験対策のきっかけをつくる。	1後	16				○		○			○	
22	○		LHR I	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	1前	11				○		○			○	
23	○		ルネサンス・メソッド	本校の原点となる理念や考え方履修し、専門知識・技術と両輪となる学生の「人間力向上」を図る。	1通	20				○		○			○	
24	○		人と動物の関係学 II	HABがもたらす人と動物への影響を理解するとともに、現代社会における動物関連諸問題への関心が高まる。	2通	6				○				○		○
25	○		動物看護学 II	飼育や現場において看護に関する知識を利用することが出来る。	2通	42				○		○			○	

26	○		動物園水族館学Ⅱ	歴史等を通して、動物園・水族館の存在価値や向き合う課題などを理解し持論を展開できる。	2通	42		○			○			○			
27	○		パピーケア概論	しつけや健康管理、ワクチン接種など子犬期の飼育管理について正しく説明できる。	2後	11		○			○			○			
28	○		動物福祉学	動物業界で働く上で重要な法律や愛護について学び、倫理観を持ってプロとして業務にあたる事ができる。	2後	11		○			○					○	
29	○		ペットショップ実務	ペットショップなど扱う周辺器材や販売方法について正しく理解し活用できる。	2後	22		○			○			○			
30		○	【選択】馬学	馬の解剖生理や飼育管理方法など学び現場での作業の意図を理解できる。	2前	20		○			○					○	
31		○	【選択】海洋哺乳類実習	水族館における展示の工夫やお客様へのサービスを理解し、実践できる。	2前	(20)		○			○					○	○
32	○		動物飼育実習Ⅱ	1年生のアシスタントとしての指導を通じ、世話と管理の飼い主への伝え方を実践できる。	2前	30					○	○			○		
33	○		アニマルトレーニング実習Ⅱ	管理者側の主体性を発揮した馴致を、小動物などに対して実施できる。	2後	42					○	○				○	
34	○		動物看護実習Ⅱ	1年次の履修を踏まえ、病院での基礎的補助作業を想定した、動きができる。	2後	22					○	○			○		
35	○		グルーミング実習	犬への関わり方と被毛管理技術を理解し、手入れやシャンプーに取り組む事ができる。	2後	16					○	○				○	
36	○		飼育実習 陸Ⅱ	各動物の管理方法の差異と同じ空間で飼育する要点を理解し、工夫を考える事ができる。	2通	79					○	○			○		
37	○		飼育実習 水Ⅱ	各々担当水槽を持ち、飼育管理の応用と総合的な管理を実践できる。	2通	79					○	○			○		
38	○		学外演習Ⅱ	施設見学と講義の他に、飼育に関する実作業を体験し、1年次の課題を克服できる。	2前	70					○			○	○		
39	○		環境教育実習	お客様に伝える環境教育の指導法を、相モデルの実践を通して学び、活用できる。	2後	22					○			○		○	

40	○		フィールドワーク	野生動物の生息環境について理解し、飼育環境において活用できる。	2 後	33					○		○		○			
41		○	【選択】野生動物学実習	野生動物と人との関わり方など実践を通して学び、現場での作業の意図を理解できる。	2 前	20					○		○			○		
42		○	【選択】移動動物園実習	移動動物園の運営を通して、飼育動物のふれあいを動物に安全にかつ楽しく実施できるようになる。	2 後	22					○	○			○			
43		○	【選択】水族館展示学	展示技法の長所短所を理解し「お客様を満足させる」展示の提案が出来るようになる。	2 通	(42)					○		○			○	○	
44	○		インターンシップ	希望職種へのインターンシップ実習を通して、プロとなるために不可欠な課題の発見ととあるべき姿を明確にする。	2 前	200					○		○	○				
45	○		海外授業	海外における園館視察や研修を通じ世界で、動物飼育・ペットケアのありかたを学び、日本流のあり方を見出す。	2 前	30					○		○	○				
46	○		スマイルコミュニケーション	ガイドや日常生活の最中でも、笑顔で楽しく実技・会話を行うことができる。	2 前	10					○		○			○		
47	○		プレゼンテーショントレーニングⅡ	プレゼンテーションの経験を重ね、インターンなど学外でも自信ある発表ができる。	2 通	42					○	○				○	○	
48	○		挨拶Ⅱ	人より早い明るい挨拶を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	21					○	○			○			
49	○		掃除Ⅱ	トイレに代表される清潔な掃除を学校生活で実践することにより、社会で必要とされる能力を身に付ける。	2 通	21					○	○			○			
50	○		就職実務Ⅱ	就職活動の本格化と早期内定に向けて、情報収集、個別調査や具体的準備な面接対策などを実施する。	2 前	10					○		○		○			
51	○		一般常識Ⅱ	動物園・水族館・実験動物業界等の多様な採用試験における突破を目指し一般教養試験での突破を目指す。	2 前	10					○		○		○			
52	○		LHRⅡ	スケジュール管理・就職活動管理および書類提出納期管理を通して、自己管理の習慣化ができる。	2 前	10					○		○		○			
53	○		実務実習	動物業界の現場において、社会人としてまた新人スタッフとしての心構えと役割を学ぶ。	2 後	120					○	○			○			
合計				53科目	2051単位時間										単位			

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業認定ライセンス試験合格 成績評価がすべてC以上 年間要出席日数の80%以上出席	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	1期 4/1-8/31 2期 9/1-3/31

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。